



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
双極性障害と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

精神疾患における転写産物と脂質組成の相関解析

【研究責任者】

花香博美(昭和女子大学食健康科学部健康デザイン学科)

【本研究の目的及び意義】

双極性障害は専門医でないと診断や治療が難しく、客観的に判断できる脂質バイオマーカー（目印）はほとんど見つかっていません。本研究では、血液中の血漿に注目し、遺伝子の働き（転写産物）や脂質の構成を広範囲に詳しく調べることで、双極性障害に特有の脂質バイオマーカー（目印）の発見を目指します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、心理検査の結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2027年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

昭和女子大学

東京大学大学院医学系研究科

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 脂質生命科学研究部

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)

